

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL0291-32-5831
 ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>



(旭地区：沢尻高齢者クラブ)



(旭地区：OKシニアクラブ)



(旭地区：和岡楽友クラブ)



(銚田地区：藤沼老人クラブ)

ふれあいいきいきサロン事業は地域の高齢者が中心となり、住民及びボランティア等の協働により、生きがいと地域のささえあう力を高めることを目的に開催しています。

銚田市内では現在9団体が毎月地区の公民館等を集まり、ボランティアの協力により健康体操やスポーツ、ゲーム、奉仕作業などを行っています。

参加者からはこうして交流を持つことにより、日頃のストレス等が解消でき、楽しみであるとの声が聞かれました。

社協では更に多くの地域でサロン事業を展開していきたいと考えておりますので、開催希望の地区がありましたらお気軽にお問い合わせください。



ふれあいいきいきサロン



(銚田地区：川西老人クラブ)



このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

平成25年度 事業報告

()カッコは25年度内訳

財源の確保

- ◆ 社協会員の加入促進
・一般会員(9,028口)
・特別会員(512口)
・団体会員(234口) 合計13,928,000円
- ◆ 赤い羽根共同募金運動(戸別募金、大口募金、職域募金、街頭募金、学校募金実施) 合計12,336,298円
- ◆ 善意銀行への預託(金品:66件、物品:35件) 合計1,366,252円



- ◆ ふれあい電話事業
(銚田・大洋各地区 年12回 対象者延べ1,146名)
- ◆ 通所型介護予防事業
(旭・銚田・大洋各地区 年96回 延べ1,034名参加)

障害(児)者対策

- ◆ 障がい者ふれあい事業
(餅つき、ペーパーウェイト作成 137名参加)
- ◆ 地域活動支援センター「のぞみ」運営
- ◆ 地域活動支援センター「スマイルハウス」運営

周知・啓発活動

- ◆ 社協だよりの発行(年6回)
- ◆ ホームページ運営
- ◆ 第4回福祉講演会

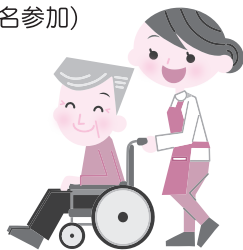
母子・父子福祉対策

- ◆ 新入学児童祝金支給事業(32件)



ボランティアの育成と推進

- ◆ チャレンジスクール(つくば市方面 22名参加)
- ◆ 傾聴ボランティア養成講習会(全6回 延べ66名参加)
- ◆ 点字講習会(全10回 延べ35名参加)
- ◆ 手話講習会(全15回 延べ104名参加)
- ◆ 音訳ボランティア養成講習会(全15回 延べ134名参加)
- ◆ 災害ボランティア講習会(全5回 延べ40名参加)



低所得者福祉対策

- ◆ 緊急食材貸付支援事業(16件)
- ◆ 歳末見舞金配布事業
(ひとり暮らし高齢者241件、要援護児童・生徒3件、心身障害者(児)5件、その他4件、障害者施設配分7施設)

地域福祉対策

- ◆ 地域福祉活動推進費助成事業(49件)
- ◆ 地域ケアシステム推進事業
(見守りチームの組織化:ひとり暮らし高齢者104件、要援護高齢者20件、障害者5件)
- ◆ 日常生活自立支援事業(利用者17名)
- ◆ 心配ごと相談所運営事業
(弁護士相談年間12回、延べ157件)

児童福祉対策

- ◆ 福祉活動普及協力校助成事業
(市内小中学校 指定校23校)
- ◆ 星空映画会事業
(上映「マダガスカル2」 約400名参加)
- ◆ 福祉作文コンクール事業
(最優秀作品1点、優秀作品2点、佳作6点)
- ◆ 親子ふれあい事業
(クリスマスコンサート、観劇「赤ずきんちゃん」 約250名参加)
- ◆ ファミリーサポート事業
(会員数:122名、相互援助活動:延べ101回)

居宅介護事業

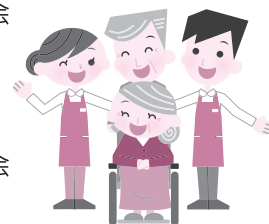
- ◆ 居宅介護支援事業…ケアプラン作成数(866件)、介護予防ケアプラン作成(143件)
- ◆ 訪問介護利用件数(10,507件)
- ◆ 障害者自立支援利用件数(2,174件)
- ◆ 移動支援利用件数(150件)
- ◆ 高齢者生活管理指導員派遣事業利用件数(1件)
- ◆ 介護移送利用件数(2,036件)
- ◆ 訪問介護法外支援利用件数(803件)

老人福祉対策

- ◆ 介護用品・福祉車両無料貸出事業
(車いす等 89件、福祉車両 79件)
- ◆ 介護用品支給事業
(月1,000円分クーポン券配布 48名 延べ440枚)
- ◆ いきいきサロン助成事業(10地区)
- ◆ ひとり暮らし高齢者サロン事業
(旭・銚田・大洋各地区 年12回 延べ929名)

各種団体の支援

- ◆ 銚田市高齢者クラブ連合会(旭・銚田・大洋支部)
- ◆ 銚田市身体障害者福祉協議会
- ◆ 銚田市大洋地区遺族会
- ◆ 銚田市遺族会旭支部
- ◆ 銚田市手をつなぐ育成会
- ◆ 茨城県共同募金会銚田市支会
- ◆ 銚田市ボランティア連絡会



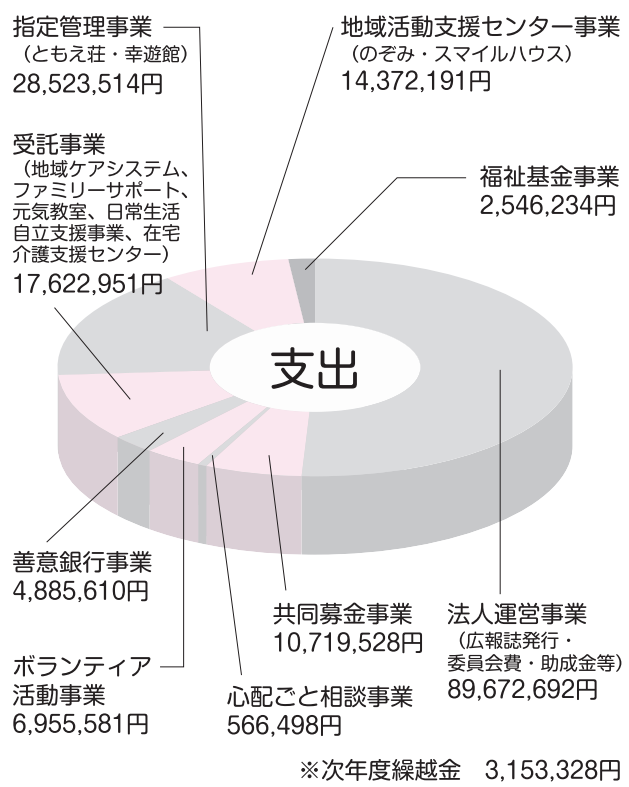
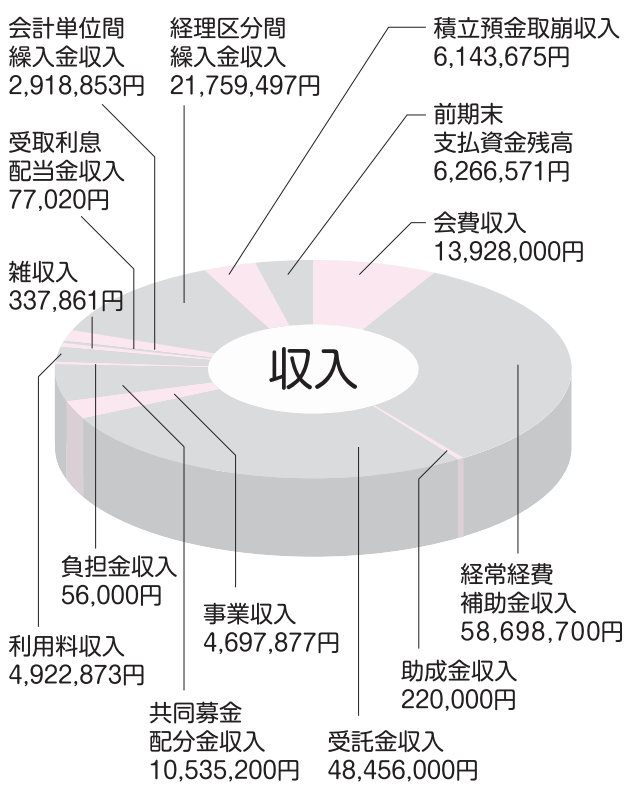
このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。

平成25年度 決算報告 (一般会計)

皆様からご協力いただきました会員会費・共同募金さらには市からの補助金・受託金を主な収入として、地域福祉活動の推進に有効活用させていただきました。皆様のご協力にあらためて感謝申し上げます。

収入合計 179,018,127円

支出合計 175,864,799円



※次年度繰越金 3,153,328円

地域福祉活動推進事業

社協では、行政区が実施する地域の交流事業や健康づくり事業等に対して、補助金を交付しています。申請につきましては、社協までお問合せください。

《補助対象事業》

- (1) 地域交流事業
 - ア、三世代交流事業(輪投げ、餅つき など)
 - イ、ふるさとまつり(運動会、映画、観劇 など)
- (2) 公的なサービスを補完する事業
 - ア、健康づくり事業 (介護予防体操、ウォーキング など)
 - イ、高齢者サロン事業 (高齢者を招待した食事会 など)

《補助金の交付額》

補助申請者	補助金算出額
地域福祉推進員 (区長)	(均等割) 20,000円 + (世帯割) 世帯数×100円

※P.8で平成25年度事業を実施した行政区を紹介しています。

福祉の「め」

シニア体験を 通して



旭東小 6年 大 嶋 悠 牙

ぼくには、もう亡くなっ
てしまったけれど、そう祖
母がいました。ぼくが遊び
に行くと、いつもおかしを
くれました。とてもこしが
曲がっていて、外ではシル
バーカーをおして歩き、家
の中では「ミ箱をつえの代
わり」にしています。どう
してそんな風になっているん
だろうと小さいころは不
思議に思っていました。

その不思議が解決したの
は、インスタントシニア体
験をした時です。重りを付
けて、体が重く動きにくく
なりました。つえにつかま
って歩くと、とても楽にな
りました。ゴーグルを付け
ると、周りがぼんやりかす
んで見えます。耳栓のせい
で、人の声は遠く、水の中
にいるようでした。そう祖
母との会話で思い出した事
があります。色々話しか
けてくるけれど、ぼくの言
う事はちっとも聞こえない
のです。どうしていいのか
分からずいると、母が教え
てくれました。

「ばあちゃん」と話す時は、
耳元でゆっくりはつきり言
うんだよ。」
その通りにすると聞こえ
て、とてもうれしかったです。
そう祖母や他のお年寄り
の人達は、大変な思いをし
ているのだと知りました。
ぼくはこれまで、家族や
先生、ご近所の人など、た

くさんの人達に見守られて
大きくなってきました。お
となりのおじさんは足が悪
くて、電動車イスだったけ
れど、学校の行き帰りには
必ず声をかけてくれました
た。色々な人にお世話にな
ったので、ぼくも大きくな
ったら社会の役に立ちたい
です。

お年寄り、体の不自由な
人、大人や子供、外国の人
などみんなが仲良く住みよ
い世界になってほしいで
す。そのためにできる身近
な事を日頃から見つけてい
きたいです。

おたがいが温かい 気持ちになるふれあい



巴第一小 6年 高 野 美 鈴

去年の十一月に、巴第一

小学校の全員で鉾田サンハ
ウスを訪問しました。施設
の方々との交流を深めるた
めに毎年行っている行事で
す。短い時間でしたが全校
児童で合唱をしたり、一人
ずつ自己しょうかいをした
りして施設の方々とのふれ合
いしました。

わたしたちの合唱を聞いて
笑顔で拍手をしてくださ
ったときは、わたしもとて
もうれしくなり、心が温か
くなったような感じがしまし
た。また、自己しょうかい
をしてふれあう大切さを感じ
ました。その大切さと
は、人と人とのつながりの
中で、だれかが喜んでくれ
たりすることです。合唱
は、おじいさん、おばあさ
ん方を喜ばせようと一生け
ん命にしたことでしたが、
逆にわたしは拍手をもらう
ことでうれしい気持ちにな
りました。おたがいに、温
かい気持ちになることがで
きた訪問でした。

わたしは以前、こんな経

験をしたことがあります。
ある時、たくさんの荷物を
持ったおばあさんを見かけ
ました。わたしは声をか
け、おばあさんと一緒に荷
物を持って、行きたい場所
まで連れて行ってあげまし
た。すると、おばあさんは
「ありがとう」と言ってく
れました。その言葉を聞い
て、わたしはうれしくなり
ました。だれかのためにと
思っていたことが、自分を
うれしくさせてくれたり、
温かい気持ちにさせてくれ
たりするものと気がつき
ました。



自慢の学校



大和田小 6年
久野美月

「サツサツサツサツ」

校庭では、みんながはきそうじをしています。これは、私が通う大和田小学校の朝の光景です。私たちの学校では、はきそうじや草ぬきなどのボランティア活動に全校で取り組んでいます。ちょっとしたボランティアなので、みんな親しみをこめて「ちょボラ」と呼んでいます。このちょボラ活動は、私たちの学校の伝統でもあり、自慢でもあります。

以前は、高学年だけがちょボラ活動に取り組んでいました。ところが、高学年の活動に一人二人と下級生

が加わり、いつの間にか全校で取り組むようになってきました。今では、朝の支度を終えた下級生もちょボラのバケツを持って校庭に飛び出しています。

「高学年がしていることを下級生はよく見えています。高学年のがんばりが、下級生の心を動かしたんですね。すばらしいことです。」

と、校長先生が私たちの活動をほめてくださいました。私たちのがんばりを先生方や下級生が認めてくれたのだと思うととてもうれしく思いました。

みんなで力を合わせると校庭の落ち葉もあっという間にきれいになります。ちょボラをやっている心からよかったと思うしゅん間で、下級生といっしょに汗を流し、学校がきれいになっていくと自分の心まできれいになっていくように思っています。一人一人の力は小さくても、みんなで力を合

わせれば大きな力となります。六十四人の大きな力で学校をもっともときれいにしていきたいと思います。

私は、今まで自分から率先して仕事をしている六年生の姿を見てきました。今度は私たちがお手本となる番です。そして統合までの二年間、大和田小学校の伝統を守りながら、よりすばらしい学校をめざしてがんばりたいと思います。

ありがとうを 伝えたい



上島東小 6年
田山菜摘

去年、短い期間でしたが、母が入院しました。

それまで、当たり前のように生活していたのに、母がいなくて戸惑うことがたく

さんありました。

父と兄と私で家事を分担して、協力し合いました。母がいつも行っている仕事を私が全部引き受けたわけではないのに、とてもつかれたことを覚えています。

洗濯をしたり、食器の片付けをしたりするのは、これまでもお手伝いしてきたことでしたが、一人で全てをやるのは、やはり、たいへんだなと実感しました。母は全てをやっていたかと思うと、おそらく、私が感じたつかれの何倍もつかれていたんだろうなと気づかされました。ただ、ただ、「感謝」の気持ちでいっぱいになりました。

母は、つかれている様子や体に痛みがある様子がいっぱい見られます。そんな時は、いつも以上にお手伝いできることをやろうと心がけています。

それでも、母は全てのことを私に任せることなく、家事を笑顔で行っていま

す。私たちを支えてくれる母の強さ、優しさにおねがいっぱいになっています。

私は、母の入院という経験をjして、前より多く伝える言葉ができました。それは、「ありがとう」です。

これまでは、「当たり前だ」とかんちがいしていた、たった五文字の「ありがとう」が伝えられないでいました。けれど、家族が支えてくれていたんだと実感できたからこそ、伝えていこうと心に決めました。

そして、私はなろうと思っています。感謝の気持ちを下級生や友達、出会う方々にも伝えられる最高学年に。



ゆたかな
ふれあい

滝浜新田高齢者クラブ
(旭地区)

私たちのクラブは、六代目の会長を中心に七十代から九十代が主で、クラブの活動には十数名で、会員の殆どが名前だけで家業に専念する人が多い現状です。

区から助成金をいただいて、区にある稲荷神社境内と公民館の掃除を、毎月一日と十五日に、雨の日は翌日にと実践しているのが主な活動です。

作業の終わった後、お茶を酌み交わし団らんする時が、年を忘れさせてくれる唯一の楽しみで心待ちしています。

六十代になると入会を勧めています。まだ早いと言われる声も掛けられない現実です。

先輩老人がいるからかと一寸寂しい…。

会長 佐久間 政文



地域活動支援センター「のぞみ」の田植えを、五月八日(木)に行いました。今年で十四回目を迎え、「のぞみ」「スマイルハウス」の通所者をはじめ、ボランティア・保護者を含め総勢五十二名の方々の協力を頂きました。

地域活動支援センター
「のぞみ」の
田植え



毎年のこととはいえ、最初は少し戸惑いがありましたが、親子で手を取り合い、皆さん慣れた手つきで一生懸命植えられましたので、無事終了することができました。

終了後は、「のぞみ会」のお母さん方の協力を頂き一同で食事をしながら、秋の「稲刈り」や「収穫祭」が盛大にできることを楽しみに終わりました。

平成26年度 社協会員募集のお知らせ

市民の皆さまと共に「福祉のまちづくり」を進めるため、会員を募集しています。

会費は、「ボランティア活動の振興」「高齢者等への生活支援」「障がい児・者の自立支援」「子育て支援」など地域福祉を推進するため、各種事業費の財源として有効に活用されます。ご加入を宜しく願います。

《推進期間》 7月～8月

《推進方法》 地域福祉推進員(区長)、自治会長、班長等をお願いしています。

《会員種別》 一般会員：1口 1,000円(年会費)
特別会員：1口 5,000円(年会費)
法人団体会員：1口 10,000円(年会費)

お知らせ!!

ふくし入門講座参加者募集!!

～ボランティア活動へはじめての一步～

	開催日時	講習内容	講 師	開催場所
1回	6月27日(金) 10:00～12:00	手話講習会	茨城県聴覚障害者協会会員 並びに手話通訳者	社協本所
2回	7月4日(金) 10:00～12:00	点字講習会	点訳サークル「愛点子」 代表 高栖美佐子氏	社協本所
3回	7月11日(金) 9:00～17:00	防災講習会		千葉県西部 防災センター
4回	7月18日(金) 10:00～12:00	ボランティア 講話	常磐大学 ヒューマンビス学科 池田幸也教授	社協本所

- 参加対象者 鉾田市在住または在学・在勤の方で、この講習会に関心をもっており講習会終了後ボランティア登録をしていただける方。
- 参加費 無 料
但し、3回目の防災講習会においては昼食代として1,000円ご負担いただきます。
- 申込み締切日 平成26年6月20日(金)
- その他 受講者が5名に満たない場合は実施いたしません。

鉾田市ファミリーサポートセンター

小児救急講座参加者募集!!

託児つき!

～お子さんを守るために知っておきたいこと～

- 日 時 平成26年7月14日(月)
10:00～12:00(受付9:30)
- 内 容 救急外来受診時のポイント、
救急車を呼ぶタイミング
救急蘇生法について
- 講 師 鉾田消防署 救命救急士
- 場 所 旭保健センター(鉾田市造谷605-3)
- 対象者 鉾田市に在住で現在子育て中の方
(定員は20名になり次第締め切ります。)
- 参加費 無 料
- その他 お子さん連れでの参加も可能ですので、
託児希望の方は申込時にお申し出ください。

● 問い合わせ・申込先 ● 〒311-1528 鉾田市当間 228 番地 社会福祉法人鉾田市社会福祉協議会
TEL : 0291-32-5831 FAX : 0291-32-5832

善意銀行からのお知らせ!!

皆さまから寄せられた温かい善意の預託金(平成25年度預託分)は、平成26年度鉾田市の地域福祉のために、下記の事業に有効に活用させていただきます。



地域活動支援センター「のぞみ」にて使用する車輛を購入しました

※預託品につきましても市内の社会福祉施設や要援護者などへの支援に有効に利用させていただいております。

平成26年度実施事業(平成25年度預託金を財源)

ボランティア活動センター事業	112,000円
社会福祉大会事業	373,000円
子育て応援プロジェクト事業	180,000円
地域活動支援センター事業	20,000円
社協だより発行事業	322,000円
車輛運搬具取得費	1,000,000円
合 計	2,007,000円

多くの善意を ありがとう

期間：3月11日～5月10日現在

善 意 金

福祉一般へ預託

- 大洋芸術文化団体連合会 24,148円
- 鉾田地区民生委員児童委員協議会(4月分) 4,359円

- 鉾田地区民生委員児童委員協議会(5月分) 3,858円
- 鉾田市野草クラブ 8,150円
- 戸大建設工業(株) 100,000円
- 匿名 20,000円

老人福祉へ預託

- ハッピークラブ 10,000円

善 意 品

- 高崎 三郎さん ポータブルトイレ(未使用品)2個
- 遠峰 幸子さん 茶葉5袋

- 松田 秀夫さん 毛糸、編み棒、タオル、石鹸
- 福野 猛さん 本、CD
- 大貫 修一さん コシヒカリ苗10枚
- 匿名 書き損じはがき

◎使用済み切手・テレホンカード等

- 浅沼 敏子さん・真家 征子さん・小島 決さん・セワタイヤセンター小岩井・舟木郵便局・鉾田北中学校・鉾田市(収納課・税務課・保険年金課・商工観光課)



赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は赤い羽根共同募金が活用されています。



保育所(園)・幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切な事です。
市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。

「みんなにありがとう」

父の日、母の日にちなみ折り紙でカーネーションの花束を作りました。
家族のみんな、いつもありがとう。

銚田市立旭幼稚園

きりん組・ばんだ組 (5歳児)



「大空をおよぶ」

こいのぼりのように、げんきに大きくさつてね。

銚田市立銚田幼稚園

ひまわり組 (5歳児)



手と手を つなぐ

地域づくり

(地域福祉活動推進事業)

社協では地域が自主的に実施する交流事業や健康づくり事業等に対して補助金を交付しています。今回はその中から2地区をご紹介します。

体験学習

(食の安全と収穫の喜び)

(銚田地区：舟木)

舟木区では舟木小の子ども達と一緒に作物を種から育て管理・観察を行い収穫までの体験学習を行いました。

- 一・二年生はトマトの定植、
 - 三・四年生は落花生・ゴーヤの栽培、
 - 五・六年生は里芋・じゃが芋の栽培、
 - 全学年でさつまい芋を栽培し収穫しました。
- 収穫した野菜は収穫祭で調理され、収穫の喜びを味わいました。

子ども達は野菜作りの大変さを通していたわりの心を学んだようです。

区長 齊藤 求



三世代交流事業

(敬老会)

(大洋地区：組塚)

平成二十五年十月十二日(土)、組塚公民館において三世代交流事業(敬老会)が開催されました。子供会が主となり区内の高齢者の方々に招待し、総勢五十五名の方が参加しました。子ども達は遊戯を発表したり、高齢者の方々と一緒にゲームをしたり会食を共にし、親睦を図ることができました。

区長 石津 正男



銚田市社協 ホームページのお知らせ

社協では、福祉に関する活動を市民の皆さまにより理解していただくためホームページを開設しています。ぜひ、閲覧してください。
URL <http://www.hokotashakyo.or.jp> (「銚田市社会福祉協議会」で検索できます。)